

臨床心理士授業研修会 報告書

心理学部 助教
博士（芸術学） 鈴木克也

1月23日（土）に開催された臨床心理士授業研修会では、中島恒雄総長先生より直接ご指導をいただき、大変勉強になりました。

この度の研修会では、臨床心理士試験のなかでも論述試験に焦点を当てた対策授業の実施方法についてご指導いただきました。研修会を通じて、資格試験合格に向けて効果的に論述指導を行う方法について学ぶことができました。

論述試験の過去問題に取り組むにあたり、授業では、まず3つの回答例を学生に配付しました。そして、配られた回答例ごとにグループを分け、論述する内容についてディスカッションを行いました。その後、個別で論述の構成を考え、実際に論述に取り組みました。

総長先生が論述を行うにあたり強調されていた点は、1）回答例を引用しても良いこと、そして、2）論述した文章を暗記してしまうことの2点でした。回答例を引用することで、すべての学生が等しく能力を高め、万全の状態の本番の臨床心理士試験に臨むことができます。

授業は至って明快でわかりやすく、たいへん取り組みやすいものでした。私も教室で実際に授業を受け、論述試験の過去問題に取り組み、その効果を実感いたしました。

総長先生の研修会に参加することで、学生の能力を高める授業とはなんたるかを学ぶことができました。総長先生は日頃から教員がしゃべりすぎないことの重要性を指摘されています。この度の研修会に参加したことで、わかりやすい授業を行うことがいかに学生の能力を高め、資格試験合格に導くにあたり、必要であるかを実感しました。そして、総長先生の開発されたメソッドを実践し、学生が夢を掴み、学生も保護者も東京福祉大学に入学してよかったとだけ教育を実践できるよう精進してまいる所存です。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。